

高齢者徘徊探知システム貸与事業

認知症高齢者が徘徊した場合に、探知機（携帯 GPS）により早期に発見できるシステムを貸与します。

対象 徘徊が見られる認知症高齢者を介護している同居の家族

利用者負担 月 1,000 円

配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者などのうち、安否確認が必要で自ら食事を用意することが困難な人に対して食事を提供します。また、配食を通じて見守り活動を行います。

対象 次の①②③すべてに該当する人

① 70 歳以上の人

② ひとり暮らし、または世帯全員が高齢者の人

③ 世帯全員が次のいずれかに該当する人

(1) 要介護および要支援の人

(2) 身体障害者手帳または療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

利用者負担 1 食 300 円



訪問理美容サービス助成事業

市内理美容店の訪問理美容サービスを受ける際の費用を助成します。

対象 次の①②③のうちいずれかに該当する在宅の人

① 要介護 3・4・5 の人

② 身体障害者手帳 1・2 級の交付を受けている人で、重度心身障害者医療費助成の受給者証の交付を受けている人

③ 療育手帳 A の交付を受けている人で重度心身障害者医療費助成の受給者証の交付を受けている人

助成内容 1 回につき 2,500 円（年度内に 2 回まで）

在宅介護手当支給事業

介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るため、在宅介護手当を支給します。

対象 在宅において、要介護 3 以上の認定を受けている人を介護する人

支給額（月額） ●要介護 3…8,000 円 ●要介護 4…9,200 円 ●要介護 5…1 万 700 円

●その他、介護認定を受けた人は下記のサービスもあります。詳しくは介護保険被保険者証に同封の【高齢者福祉サービスのお知らせ】をご覧ください。

●身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳 A の交付を受けている人が利用できる下記のサービスもあります。市ホームページで確認いただくか、お問い合わせください。



在宅介護保険サービス利用者負担軽減事業、紙おむつ支給事業、緊急通報システム設置事業、寝具乾燥サービス事業、福祉タクシー介護料金助成事業、高齢者日常生活用具給付事業、生活支援短期入所事業

問合せ

●長寿福祉課 長寿福祉係(市役所 1 階 27 番窓口) … ☎ 0256・77・8175

●地域包括支援センターおおまがり … ☎ 0256・61・6165

(担当地区：西燕町、桜町、秋葉町二丁目～四丁目、水道町、寿町、白山町、廿六木、小池、小池新町、柳山、杉名、杉柳、道金、八王寺、大曲、緑町)

●地域包括支援センターさわたり … ☎ 0256・62・2900

(担当地区：おおまがり担当地区以外の燕地区)

●吉田地区地域包括支援センター … ☎ 0256・94・7676 (担当地区：吉田地区)

●分水地区地域包括支援センター … ☎ 0256・97・7113 (担当地区：分水地区)

高齢者の皆さんが住み慣れた地域の中で、健やかで快適な暮らしができるよう実施している市の高齢者福祉サービスをご紹介します。サービスの詳細、申請方法については、長寿福祉課 長寿福祉係、地域包括支援センター、担当のケアマネジャーにご相談ください。



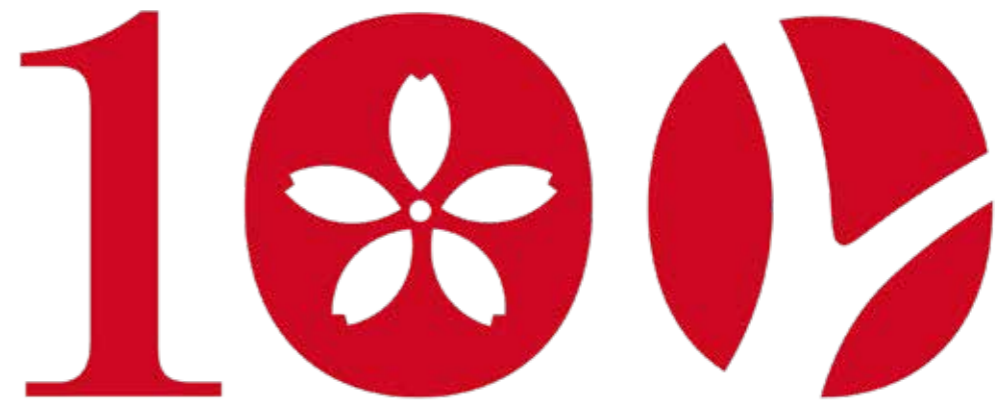
高齢者在宅福祉サービスをご利用ください ※申請が必要です

どんどん使って盛り上げてね!

大河津分水通水100周年「記念ロゴマーク」が決定

越後平野の治水の要として、地域発展の礎となった大河津分水は 2022 年に通水 100 周年を迎えます。

流域住民はもとより、全国の皆さんから大河津分水を今一度広く認識してもらうため、記念ロゴマーク案を長岡造形大学の学生が 3 案作成し、その中から一般投票により決定しました。



大河津分水 通水100周年

The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

このロゴマークは、地域の皆さんからの 1,700 票を超える投票によって選ばれました。ロゴマークを作成した長岡造形大学の学生たちは、デザインだけではなく、多くの皆さんから使用してもらえるよう利用規約なども協力してつくりあげてくれました。

「記念ロゴマーク」を使って 100 周年を一緒に盛り上げよう!

ロゴマークはどなたでも使用できます。地域や PTA の会報などでどんどん活用してください。

使用の手引きやデータのダウンロードなど、詳しくはホームページをチェック!



●問合せ 信濃川河川事務所 総務課 ☎ 0258・32・3020

私たち「長岡造形大学」が考えました!



ロゴマークは 100 年前の大河津分水通水を記念して植樹された「桜」をモチーフに、大河津分水と共に私たちの安全な暮らしが 100 年先もずっと続いていくようにとの願いを込めて考えました。また、歴史ある分水の雰囲気や通水にける人々の熱い思い、努力を赤色で表現しています。

私たち 7 人と金先生で何度も会議を重ね、たくさんのデザインを提案し、このマークに決まりました。充実した活動を支えてくださった先生や関係者の方々に感謝しています。

このロゴマークが、多くの皆さんに大河津分水について興味を持っていただけるきっかけになるとうれしく思います。

アートディレクション 金 峯 洙
デザイン 石坂 桃佳、熊坂 真衣、高橋 愛実、種村 花音、大保 菜南子、中山 菜、花村 亜紀

〈コメント：マーク発案者 大保 菜南子〉 (敬称略)

